

臨床研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

甲賀市立信楽中央病院では、甲賀市の許可を得て下記の臨床研究を実施しています。

この研究では、対象となる方に関して既に存在する診療情報や検査結果などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた臨床指針に基づき、対象となる方お一人お一人に直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施について情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご参照ください。研究への参加を希望されない場合、研究の結果の公表前であれば、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお、研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございませんのでご安心ください。

平成31年1月1日 甲賀市立信楽中央病院

【研究課題名】

「当院 入院後期高齢者のポリファーマシー介入の検討」

【研究期間】

平成31年1月1日～平成31年4月30日

【研究意義・目的】

高齢者の多剤併用（ポリファーマシー）は薬剤有害事象の原因となっている場合があります。

入院中に服用薬について薬剤師が「高齢者の医薬品適正使用の指針」（厚生労働省）等を用いて服用薬の確認をいたします。見直し薬剤については、担当医と協議し、不適切あるいは不要な薬剤であった場合は他の薬剤に変更または減量、中止します。

服用薬の適正化をすることで、ADL向上、フレイル予防、薬剤による副作用の回避、医療費削減、薬の飲み忘れ防止（アドヒアランス向上）などの効果が期待できます。

【研究の内容】

1. 対象となる方

平成31年1月1日～平成31年4月30日に入院された後期高齢者

2. 研究に用いるデータ

患者さんのカルテや患者からの聞き取り、お薬手帳、持参されたお薬から以下のデータを収集させていただきます。

現在使用している薬剤の内容、薬剤が処方された医療機関名、薬剤による副作用歴、既往歴、患者さんの薬剤への理解状況（用法用量、薬効についてなど）および血液検査データ

3. 検討する項目

- ①入院時、退院時の薬剤数
- ②入院時、退院時の服薬タイミング数
- ③中止、減量となった薬剤、種類

【利益相反について】

この研究は特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていません。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めるようなことは一切いたしません。

【研究計画書および研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書の研究方法に関する資料については、研究対象者などの個人情報および知的財産の保護などに支障がない範囲内に限り入手または閲覧が可能です。

入手・閲覧を希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先】

本研究で利用する情報からは、お名前、住所など、直接ご本人を同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌などで発表されますがその際も個人を特定する情報は公開いたしません。なお、個人情報の利用目的などに関して、詳細をお知りになりたい場合は、下記「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【問い合わせ窓口】

研究責任者：甲賀市立信楽中央病院 薬剤科 宇野孝志

所在地：滋賀県甲賀市信楽町長野473

連絡先：0748-82-0249（代表）